

環境経営レポート



藤並公園の公園整備工事を施工し、高知市優良建設工事表彰を受賞しました

発行年月日 令和 6年 8月 26日

株式会社 岩村

目 次

1. 組織の概要
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日
3. 環境経営方針
4. 環境管理組織体制
5. 環境経営目標
6. 環境経営活動計画
7. 環境経営目標の実績
8. 環境経営活動計画の取組結果とその評価
9. 次年度の取組内容
 - (1) 環境経営目標
 - (2) 環境経営活動計画
10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
11. 代表者による全体評価と見直しの結果

発行日： 令和 6年 8月 26日

発行責任者：環境管理責任者 岩村進

次回発行予定： 令和 7年 8月 頃

1. 組織の概要

【事業所名】 株式会社 岩村

【代表者氏名】 代表取締役 岩村 謙二

【所在地】

本社 高知県高知市塚ノ原334番地1

倉庫 高知県高知市宗安寺767番地1

【環境管理責任者氏名及び担当者連絡先】

環境管理責任者氏名	取締役	岩村 進
連絡先担当者	営業部	岩村 久美
連絡先	TEL:	(088) 843-2145
	FAX:	(088) 840-5118
	E-mail:	iwamurakumi@gmail.com

【事業活動の内容についての簡単な記述】

建設業許可

許可番号 高知県知事 許可（特-4）第6251号（造園工事業）
高知県知事 許可（般-4）第6251号（土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業）
許可年月日 令和4年6月11日
建設業の種類 造園工事業、土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業

【事業規模】

設立年月日 昭和63年6月9日
資本金 2,100万円

	2021年度	2022年度	2023年度
製品生産量・出荷額（売上高） （千円）	51,709	77,196	124,513
従業員数 （名）	6	6	6
事業所敷地面積 （m ² ）	292.34	292.34	292.34
事業所延べ床面積 （m ² ）	264	264	264
倉庫床面積 （m ² ）	188.33	188.33	188.33

従業員数は、7月 1日現在

会計年度 7月 ~ 6月

2. 対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

【対象範囲（認証・登録範囲）】

株式会社 岩村

本社 高知県高知市塚ノ原334番地1 (常駐者： 6名)

倉庫 高知県高知市宗安寺767番地1

対象事業： 造園工事業、土木工事業、とび・土工工事業、舗装工事業

【レポートの対象期間】

2023年 7月～2024年 6月

【環境経営レポートの発行日】

2024年 8月26日

【作成責任者】

環境管理責任者

岩村進

対象となる持続可能な開発目標（SDGs）範囲

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs NO.	項目	当社対象有無	備考
1	貧困をなくそう		オーガニック
2	飢餓をゼロに		オーガニック、フェアトレード
3	すべての人に健康と福祉を	○	高齢者雇用
4	質の高い教育をみんなに		環境教育の実施
5	ジェンダー平等を実現しよう		障害者雇用
6	安全な水とトイレを世界中に	○	水道使用、節水、雨水利用
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	○	再生可能エネルギー使用
8	働きがいも経済成長も	○	高齢者雇用、障害者雇用
9	産業と技術革新の基礎をつくろう	○	低燃費、長寿命化、環境負荷低減
10	人や国の不平等をなくそう		高齢者雇用、障害者雇用
11	住み続けられるまちづくりを	○	CO2削減、エコドライブ
12	つくる責任つかう責任	○	コピー用紙削減、環境配慮工事
13	気候変動に具体的な対策を	○	CO2削減、省エネ、環境配慮工事
14	海の豊かさを守ろう		下水道、排水処理の場合
15	陸の豊かさも守ろう	○	緑化、植林、社有林の保全
16	平和と公正をすべての人に		寄付、環境教育
17	パートナーシップで目標を達成しよう		寄付、環境教育

3. 環境経営方針

株式会社 岩村

環境経営方針

【経営理念】

当社は造園工事業で創業しました。「技術をもって社会に貢献する」を理念として「やすらぎ」と「うるおい」の提供を心掛けてきました。特色である剪定事業の枝葉は堆肥へ、その堆肥を元に植栽を行い、成長しては剪定を行うと事業活動の中に資源の循環を取り入れています。また樹木の移植や石材等の造園資材を再生利用・再使用を促進して社訓でもある「整理整頓」・「MOTTAINAI」（もったいない）ともマッチし、当社の事業活動の推進に貢献してきました。この経営理念に基づき環境活動と経済活動を両立させて、当社に関係するすべての人に幸福を提供できるよう継続的改善による環境経営を行っていきます。

【環境基本方針】

建設工事における、設計・資材調達・施工・廃棄物処理の各段階において、環境負荷の少ない事業活動に努めます。それらの実現のために下記の方針を設定します。

1. 事業活動において、積極的に環境負荷低減に努めます。

- ①エコドライブを心がけ燃料使用量の削減、事務所・現場における電力使用量の削減により、二酸化炭素排出量削減に努めます。
- ②建設工事及び事務所における一般廃棄物発生量の削減及び産業廃棄物の削減・リサイクル推進に努めます。
- ③節水に努め、水の使用量を削減します。
- ④公園樹木の消毒に使用する農薬等に含まれる化学物質の使用量の削減に努めます。
- ⑤グリーン購入を推進します。
- ⑥環境に配慮した工事を実施します。

2. 当社の事業活動に関する環境関連法規及び条例等を遵守します。

3. 環境経営方針を全従業員に周知徹底します。

4. 環境経営活動レポート等環境情報について外部公表します。

5. ロードボランティア活動などの地域貢献活動に積極的に参加します。

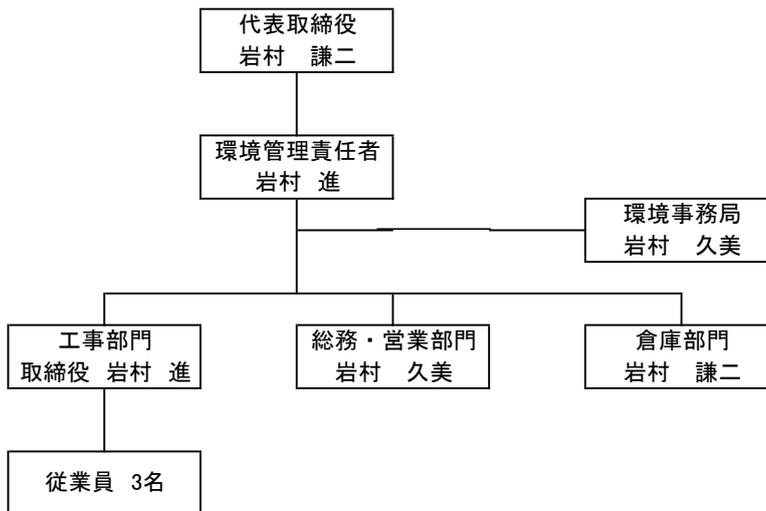
6. SDGsへの取り組みを推進します。

制定日 平成23年9月30日
改定日 令和4年6月30日

株式会社 岩村
代表取締役 岩村 謙二

4. 環境管理組織体制

実施体制図



環境管理システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者	<p>環境経営に関する統括責任。 環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間、技能、技術を準備。 環境管理責任者を任命。 経営における課題とチャンスの明確化。 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知。 環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制を承認。 全体の評価と見直し・指示。</p>
環境管理責任者	<p>環境経営システムの構築、実施、管理。 環境関連法規等の取りまとめ表を承認。 環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制を確認。 環境活動の取組結果を代表者へ報告。 環境経営レポートの確認。</p>
環境事務局	<p>環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施。 環境経営目標、環境経営計画・環境管理組織体制原案の作成。 環境活動の実績集計。 環境関連法規等取りまとめ表の作成。 環境経営レポートの作成、公開。</p>
部門長	<p>自部門における環境経営システムの実施。 自部門における環境経営方針の周知。 自部門の従業員に対する教育訓練の実施。 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告。 特定された項目の手順書作成及び運用管理。 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成。 テスト、訓練を実施、記録の作成。 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施。</p>
従業員	<p>環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚。 決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。</p>

5. 環境経営目標

(2023年度)

(1) 単年度目標

項目	総量・原単位	単位	基準年 2020年度 2020.7-2021.6	2023年度 目標 2023.7-2024.6
売上高		百万円	107	107
燃料使用量				
ガソリン使用量 (事務所)	総量	(ℓ)	1,011	1,000
	原単位	(ℓ/百万円)	9	9
ガソリン使用量 (現場)	総量	(ℓ)	2,497	2,300
	原単位	(ℓ/百万円)	23	21
軽油使用量	総量	(ℓ)	6,489	6,200
	原単位	(ℓ/百万円)	61	58
LPG使用量	総量	(kg)	371	340
	原単位	(kg/百万円)	3	3
電力使用量	総量	(kWh)	20,387	19,500
	原単位	(kWh/百万円)	191	182
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	36,760	34,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	344	318
用水使用量	総量	(m ³)	377	350
	原単位	(m ³ /百万円)	4	3
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	44,875	42,000
	原単位	(kg/百万円)	419	393
産業廃棄物排出量	総量	(t)	59	56
	原単位	(t/百万円)	1	1
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100
グリーン購入	総量	(%)	77	80
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100 (61/61)	100
化学物質使用量	総量	原液(kg)	0.121	0.119
環境美化活動	総量	(回)	6	7

- * 1. 購入電力のCO₂ 排出係数は、令和2年1月7日公表の四国電力の調整後排出係数0.528kg-CO₂/kWhを使用した。
- * 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)
- * 3. 環境負荷の少ない工事
 - 環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用
 - 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
 - 型枠、工事看板への間伐材の使用
 - 仮設材を自社保有して転用しながら使用
- * 4. 化学物質は樹木消毒にトレボン乳剤を使用
- * 5. 一般廃棄物排出量には剪定枝葉類を含む

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2020年度 実績(基準年)	2023年度 目標	2024年度 目標	2025年度 目標
売上高		百万円	107	107	107	107
燃料使用量						
ガソリン使用量 (事務所)	総量	(ℓ)	1,011	1,000	950	900
	原単位	(ℓ/百万円)	9	9	9	8
ガソリン使用量 (現場)	総量	(ℓ)	2,497	2,300	2,200	2,100
	原単位	(ℓ/百万円)	23	21	20	19
軽油使用量	総量	(ℓ)	6,489	6,200	6,150	6,100
	原単位	(ℓ/百万円)	61	58	57	57
LPG使用量	総量	(kg)	371	340	330	320
	原単位	(kg/百万円)	3	3	3	3
電力使用量	総量	(kWh)	20,387	19,500	19,000	18,500
	原単位	(kWh/百万円)	191	182	178	173
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	36,760	34,000	33,000	32,000
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	344	318	308	299
用水使用量	総量	(m ³)	377	350	340	330
	原単位	(m ³ /百万円)	4	3	3	3
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	44,875	42,000	41,000	40,000
	原単位	(kg/百万円)	419	393	383	374
産業廃棄物排出量	総量	(t)	59	56	55	54
	原単位	(t/百万円)	1	1	1	1
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100	100	100
グリーン購入	総量	(%)	77	80	82	83
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100 (61/61)	100	100	100
化学物質使用量	総量	原液(kg)	0.121	0.119	0.118	0.117
環境美化活動	総量	(回)	6	7	7	8

6. 環境経営計画 (2023年度)

期間： 2023年 7月 ～ 2024年 6月

項目		活動内容	担当者	期間	
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減	○エコドライブを心がける	総務部：岩村	7月～6月	
		○不要な荷物をできるだけ積まない			工務部：岩村
		○工事車両、重機のアイドリングストップの励行	総務部：岩村		
		○定期的に車両の保守点検を実施する			7月～6月
	電力使用量 削減	○エアコンを適正温度に設定する (冷房28℃程度、暖房20℃程度)	総務部：岩村		
		○クールビズ、ウォームビズを実施する			
		○留守の時は照明、エアコンを切る			
		○冷暖房中の窓、ドアの開放禁止			
		○長時間使用しない○A機器は電源を切る			
		○留守の時は蛇口を閉める			総務部：岩村
用水使用量削減 (排水量削減)	○節水意識を高める	工務部：岩村			
	○現場では不必要な時は蛇口をこまめに閉める				
廃棄物削減	一般廃棄物	○印刷の際は確認し、コピーミス減らす	総務部：岩村	7月～6月	
		○白黒印刷の推進			
		○内部文書は裏紙を使用する			
		○使用済の封筒の再利用を行う			
		○剪定枝葉をハーク材の原料としてリサイクルする			工務部：岩村
	産業廃棄物	○分別処理の徹底	工務部：岩村		7月～6月
グリーン購入	○再生コピー紙を購入する	総務部：岩村	7月～6月		
	○エコマーク文具を選定購入する				
化学物資排出量削減	○化学物質使用量削減に努める	工務部：岩村	7月～6月		
	○適正な使用量で無駄な使用はしない				
環境負荷の少ない工事	○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用	工務部：岩村	7月～6月		
	○低騒音、排出ガス対策型重機の使用				
	○型枠、工事看板への間伐材の使用				
	○仮設材を自社保有して転用しながら使用				
	○植栽維持業務において残材のリサイクルに努める				
	○植栽工事に利用する杉皮・シュロ縄は天然素材で自然に帰るものを使用				
	○電動工具を使用して直接CO2を出さない				
社会貢献活動	○ロードボランティア活動を行う	工務部：岩村	7月～6月		

7. 環境経営目標の実績

(1) 本年度実績

項目	総量・原単位	単位	基準年 2020年度 2020.7-2021.6	2023年度 目標 2023.7-2024.6	2023年度 実績 2023.7-2024.6	実績値/目標値 (%)	評価
売上高		百万円	107	107	124		
燃料使用量					9,295		
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	1,011	1,000	969	96.90%	○
(事務所)	原単位	(ℓ/百万円)	9	9	8	83.62%	
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	2,497	2,300	1,786	77.66%	○
(現場)	原単位	(ℓ/百万円)	23	21	14	67.01%	
軽油使用量	総量	(ℓ)	6,489	6,200	6,540	105.48%	×
	原単位	(ℓ/百万円)	61	58	53	91.02%	
LPG使用量	総量	(kg)	371	340	318	93.64%	○
	原単位	(kg/百万円)	3	3	3	80.80%	
電力使用量	総量	(kWh)	20,387	19,500	19,371	99.34%	○
	原単位	(kWh/百万円)	191	182	156	85.72%	
CO ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	36,760	34,000	34,451	101.33%	×
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	344	318	278	87.44%	
用水使用量	総量	(m ³)	377	350	386	110.29%	×
	原単位	(m ³ /百万円)	4	3	3	95.17%	
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	44,875	42,000	41,437	98.66%	○
	原単位	(kg/百万円)	419	393	334	85.13%	
産業廃棄物排出量	総量	(t)	59	56	361	644.64%	×
	原単位	(t/百万円)	1	1	3	556.26%	
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100	100	100.00%	○
グリーン購入量	総量	(%)	77	80	84	105.00%	○
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100 (61/61)	100	100 (50/50)	100.00%	○
化学物質使用量	総量	原液(kg)	0.121	0.119	0.121	101.68%	×
環境美化活動	総量	(回)	6	7	2	28.57%	×

- * 1. 購入電力のCO₂ 排出係数は、令和2年1月7日公表の四国電力の調整後排出係数0.528kg-CO₂/kWhを使用した。
- * 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)
- * 3. 環境負荷の少ない工事
 - 環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用
 - 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
 - 型枠、工事看板への間伐材の使用
 - 仮設材を自社保有して転用しながら使用
- * 4. 化学物質は樹木消毒にトレボン乳剤を使用
- * 5. 一般廃棄物排出量には剪定枝葉類を含む

<環境経営目標未達成等理由>

売上高に伴いクリアできていない項目もあるが、原単位ではクリアできているものもあった。
 産業廃棄物や燃料使用量は予想より工事量増加のため排出量が増えた。
 グリーン購入を意識する。
 化学物質使用量をできるだけ控えるようにする。
 環境美化活動がクリアできていないため、これから定期的を実施する。

<過去の実績>

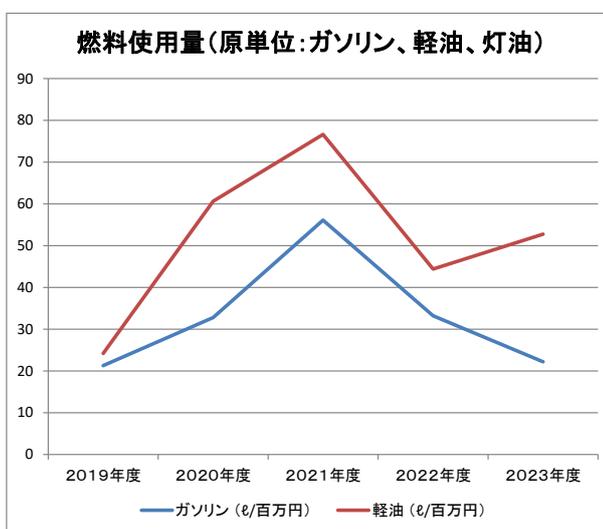
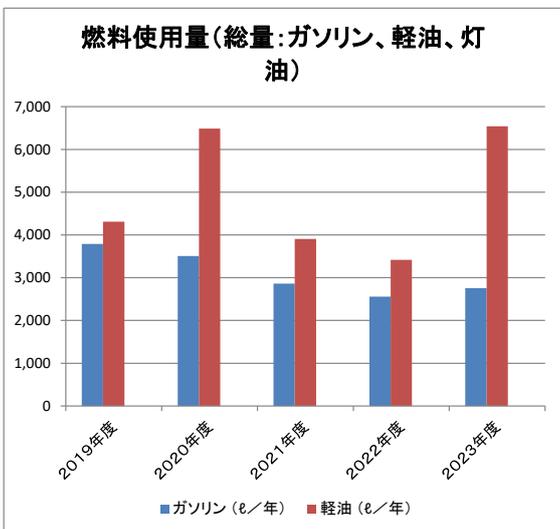
項目	総量・原単位	単位	2019年度 実績	2020年度 実績	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績
売上高		百万円	178	107	51	77	124
燃料使用量			8,096	9,997	6,769	5,974	9,295
ガソリン使用量	総量	(ℓ)	3,788	3,508	2,861	2,556	2,755
	原単位	(ℓ/百万円)	21.28	32.79	56.10	33.19	22.22
軽油使用量	総量	(ℓ)	4,308	6,489	3,908	3,418	6,540
	原単位	(ℓ/百万円)	24.20	60.64	76.63	44.39	52.74
L P G使用量	総量	(kg)	314	371	332	305	318
	原単位	(kg/百万円)	1.76	3.47	6.51	3.96	2.57
電力使用量	総量	(kWh)	19,947	20,387	18,982	18,668	19,371
	原単位	(kWh/百万円)	112.06	190.53	372.20	242.44	156.22
C O ₂ 排出量	総量	(kg-CO ₂)	31,381	36,760	27,742	25,528	34,451
	原単位	(kg-CO ₂ /百万円)	176.30	343.55	543.96	331.53	277.83
用水使用量	総量	(m ³)	352	377	392	391	386
	原単位	(m ³ /百万円)	1.98	3.52	7.69	5.08	3.15
一般廃棄物排出量	総量	(kg)	23,185	44,895	54,236	49,936	41,437
	原単位	(kg/百万円)	130.25	419.58	1,063.45	648.52	334.17
産業廃棄物排出量	総量	(t)	158	59	3	173	361
	原単位	(t/百万円)	0.89	0.55	0.06	2.25	2.91
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100	100	100	100
グリーン購入	総量	(%)	74	70	70	80	84
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100 (64/64)	100 (61/61)	100 (60/60)	100 (59/59)	100 (50/50)
化学物質使用量	総量	原液(kg)	0.121	0.117	0.121	0.121	0.121
環境美化活動	総量	(回)	6	6	8	3	2

燃料使用量（総量：ガソリン、軽油）
単位：ℓ／年

年度	ガソリン (ℓ／年)	軽油 (ℓ／年)
2019年度	3,788	4,308
2020年度	3,508	6,489
2021年度	2,861	3,908
2022年度	2,556	3,418
2023年度	2,755	6,541

燃料使用量（原単位：ガソリン、軽油）
単位：ℓ／百万円

年度	ガソリン (ℓ／百万円)	軽油 (ℓ／百万円)
2019年度	21	24
2020年度	33	61
2021年度	56	77
2022年度	33	44
2023年度	22	53

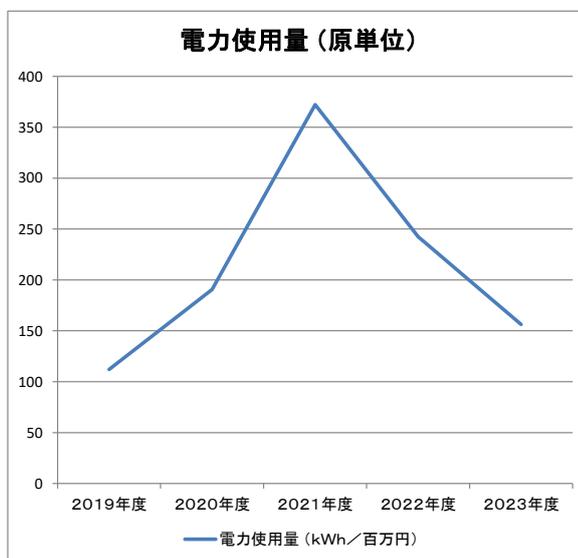


電力使用量（総量：kWh／年）

年度	電力使用量 (kWh／年)
2019年度	19,947
2020年度	20,387
2021年度	18,982
2022年度	18,668
2023年度	19,371

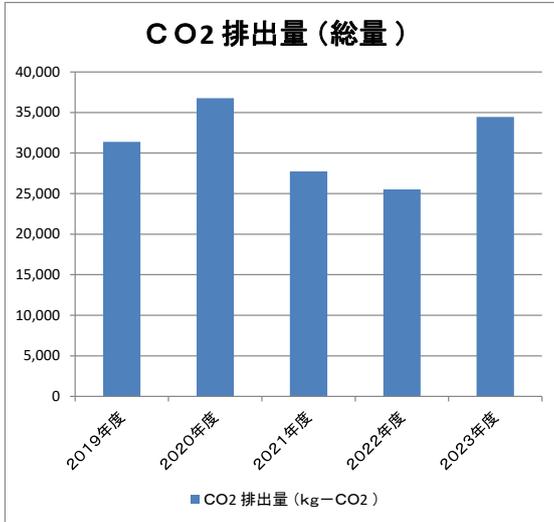
電力使用量（原単位：kWh／百万円）

年度	電力使用量 (kWh／百万円)
2019年度	112
2020年度	191
2021年度	372
2022年度	242
2023年度	156



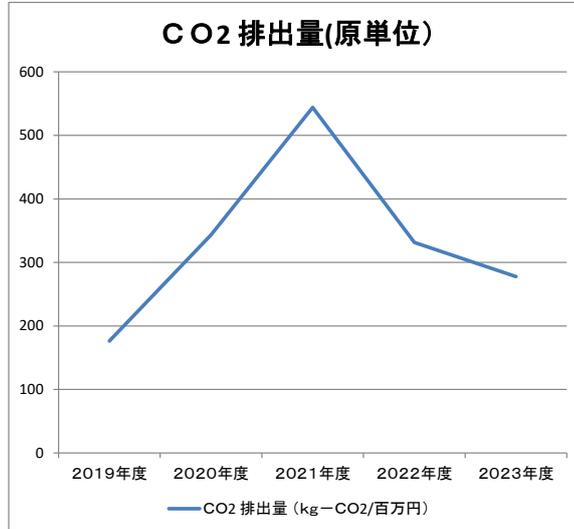
CO₂ 排出量（総量：（kg-CO₂））

年度	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)
2019年度	31,381
2020年度	36,760
2021年度	27,742
2022年度	25,528
2023年度	34,451



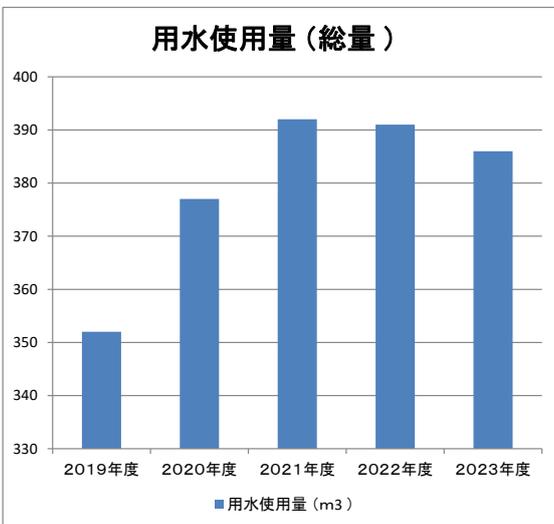
CO₂ 排出量（原単位：kg-CO₂/百万円）

年度	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂ /百万円)
2019年度	176
2020年度	344
2021年度	544
2022年度	332
2023年度	278



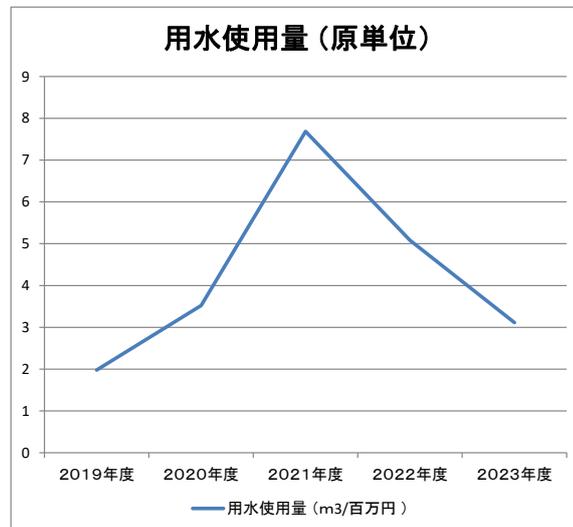
用水使用量（総量：m³）

年度	用水使用量 (m ³)
2019年度	352
2020年度	377
2021年度	392
2022年度	391
2023年度	386



用水使用量（原単位：m³/百万円）

年度	用水使用量 (m ³ /百万円)
2019年度	2
2020年度	4
2021年度	8
2022年度	5
2023年度	3



廃棄物排出量(総量:一般廃棄物、産業廃棄物)

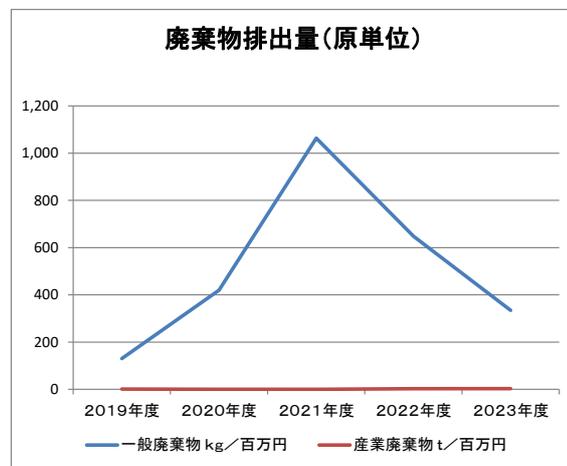
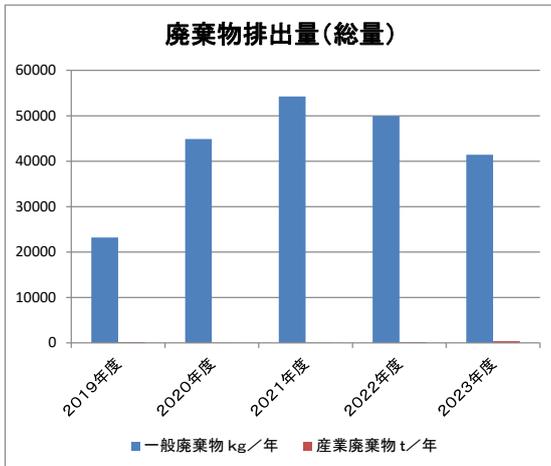
単位:一般廃棄物 kg/年
単位:産業廃棄物 t/年

年度	一般廃棄物 kg/年	産業廃棄物 t/年
2019年度	23185	158
2020年度	44895	59
2021年度	54236	3
2022年度	49936	173
2023年度	41437	361

廃棄物排出量(原単位:一般廃棄物、産業廃棄物)

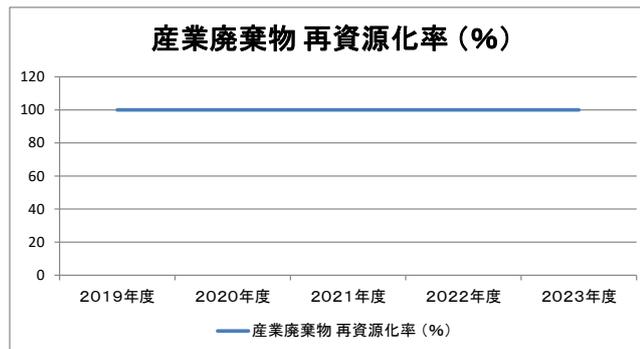
単位:一般廃棄物 kg/百万円
単位:産業廃棄物 t/百万円

年度	一般廃棄物 kg/百万円	産業廃棄物 t/百万円
2019年度	130	1
2020年度	420	1
2021年度	1,063	0
2022年度	649	2
2023年度	334	3



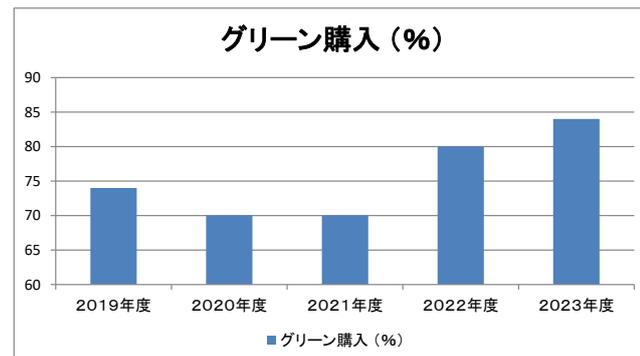
産業廃棄物再資源化率 (%)

年度	産業廃棄物 再資源化率 (%)
2019年度	100
2020年度	100
2021年度	100
2022年度	100
2023年度	100



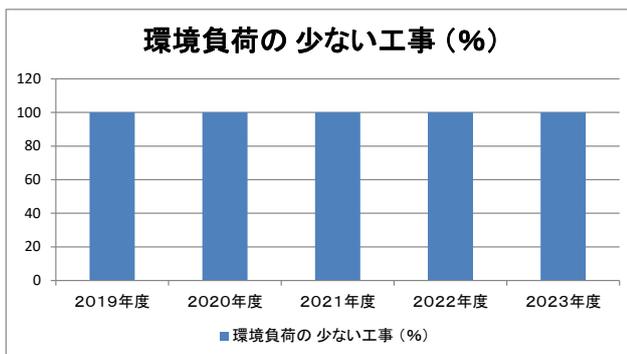
グリーン購入 (%)

年度	グリーン購入 (%)
2019年度	74
2020年度	70
2021年度	70
2022年度	80
2023年度	84



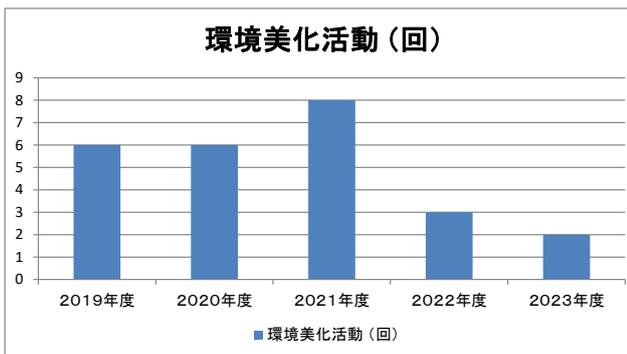
環境負荷の少ない工事(%)

年度	環境負荷の少ない工事(%)
2019年度	100
2020年度	100
2021年度	100
2022年度	100
2023年度	100



環境美化活動(回)

年度	環境美化活動(回)
2019年度	6
2020年度	6
2021年度	8
2022年度	3
2023年度	2



8. 環境経営計画の取組結果とその評価

期間： 2023年 7月 ～ 2024年 6月

項目	活動内容	取組結果	評価	見直し	
CO2 排出量削減	燃料使用量削減	○エコドライブを心がける	エコドライブは実施できた。	これからも朝会で周知徹底する。	引き続き取り組みを継続する。
		○不要な荷物をできるだけ積まない	不要な荷物は極力減らす事ができた。	不要な荷物を減らす意識を持つ。	
		○工事車両、重機のアイドリングストップの励行	きていない時が時々あった。		
		○定期的に車両の保守点検を実施する	車両の保守点検は実施できた。		
	電力使用量削減	○エアコンを適正温度に設定する	衣服で調整し、エアコンの適正温度は守れた。	これからも衣服などで調整しエアコンの使用をできる限り控える。	引き続き取り組みを継続する。
		○留守の時は照明、エアコンを切る	外出時は照明やエアコンは切る事ができた。		
○冷暖房中の窓、ドアの開放禁止					
用水使用量削減 (排水量削減)	○使用しない時は蛇口を閉める	事務所はできている。	節水意識を一層高める。	引き続き取り組みを継続する。	
	○節水意識を高める	工事現場での使用をできる限り控える。			
	○現場では不必要な時は蛇口をこまめに閉める				
廃棄物削減	一般廃棄物	○印刷の際は確認し、コピーミス減らす	裏紙の使用ができた。	再生紙の使用を心がける。 印刷前の確認を徹底させる。	引き続き取り組みを継続する。
		○内部文書は裏紙を使用する	繁忙期は時々印刷前の確認が抜かる事があった。		
		○使用済の封筒の再利用を行う	使用済の封筒の再利用はできた。		
		○剪定枝葉をパーク材の原料としてリサイクルする	剪定の枝葉のリサイクルできた。		
	産業廃棄物	○分別処理の徹底	分別処理できている。	これからも継続する事。	
グリーン購入	○再生コピー紙を購入する	グリーン度の高い商品を購入する	これからも継続する事。	引き続き取り組みを継続する。	
	○エコマーク文具を選定購入する				
化学物質排出量削減	○化学物質使用量削減に努める	安全適正にできた。	これからも安全を守り的確に散布する。	引き続き取り組みを継続する。	
	○適正な使用量で無駄な使用はしない				
環境負荷の少ない工事	○環境負荷の少ない材料（リサイクル材、県産品等）の使用	リサイクル材（砕石等）の使用ができた。	これからも環境に配慮した工事の提案をしていく事。	引き続き取り組みを継続する。	
	○低騒音、排出ガス対策型重機の使用	超低騒音・排ガス対策車のバックホウを使用。			
	○型枠、工事看板への間伐材の使用	県内産の木材を看板に使用した。			
	○仮設材を自社保有して転用しながら使用	工事看板に自社保有のものを使用した。			
	○植栽維持業務において残材のリサイクルに努める	リサイクル（パーク材）できた			
	○植栽工事に利用する杉皮・シュロ縄は天然素材で自然に燃えるものを使用				
社会貢献活動	○ロードボランティア活動を行う	定期的にできたが、目標値に達していない	これからも継続し、できるだけ回数を増やす事。	引き続き取り組みを継続する。	

具体的な取組状況

1. 電力使用量削減

事務所蛍光灯を全てLEDに取替（令和元年6月）



2. 用水使用量の削減

節水シール貼付け（平成23年10月設置）



事務所トイレに節水を促すシールを貼付けました。

3. 一般廃棄物削減

再生紙シール貼付け（平成23年10月設置）



再生紙専用の引き出しをコピー機の横に設けて、すぐに使用できるようにしました。



コピー機に再生紙使用を促すシールを貼付けました。

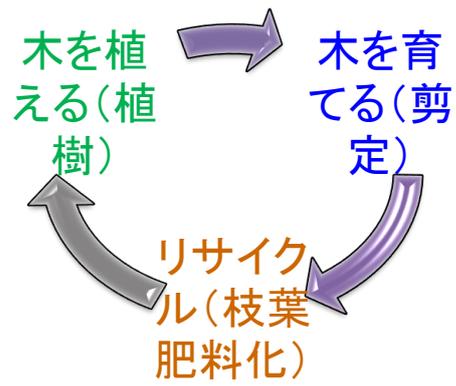
4. 環境に配慮した工事の実施



超低騒音・排ガス対策車のバックホウ使用



剪定枝葉をパーク材の原料としてリサイクルしています



リサイクル循環循環図

5. 環境美化活動



毎年、県道高知北環状線のロードボランティア活動を行い、花植え・除草を行っています。

9. 次年度の取組内容

(2024年度)

(1) 環境経営目標

(1) 単年度目標

項目	総量・原単位	単位	基準年 2022年度 2022.7-2023.6	2024年度 目標 2024.7-2025.6
売上高		百万円	77	77
燃料使用量				
ガソリン使用量 (事務所)	総量 原単位	(ℓ) (ℓ/百万円)	840 11	800 10
ガソリン使用量 (現場)	総量 原単位	(ℓ) (ℓ/百万円)	1,716 22	1,600 21
軽油使用量	総量 原単位	(ℓ) (ℓ/百万円)	3,418 44	3,200 42
LPG使用量	総量 原単位	(kg) (kg/百万円)	305 4	280 4
電力使用量	総量 原単位	(kWh) (kWh/百万円)	18,668 242	17,000 221
CO ₂ 排出量	総量 原単位	(kg-CO ₂) (kg-CO ₂ /百万円)	25,528 332	23,000 299
用水使用量	総量 原単位	(m ³) (m ³ /百万円)	391 5	350 5
一般廃棄物排出量	総量 原単位	(kg) (kg/百万円)	49,936 649	45,000 584
産業廃棄物排出量	総量 原単位	(t) (t/百万円)	173 2	150 2
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100
グリーン購入	総量	(%)	80	83
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100 (59/59)	100
化学物質使用量	総量	原液(kg)	0.121	0.118
環境美化活動	総量	(回)	3	4

- * 1. 購入電力のCO₂ 排出係数は、令和2年1月7日公表の四国電力の調整後排出係数0.528kg-CO₂/kWhを使用した。
- * 2. グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)
- * 3. 環境負荷の少ない工事
 - 環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用
 - 低騒音、排出ガス対策型重機の使用
 - 型枠、工事看板への間伐材の使用
 - 仮設材を自社保有して転用しながら使用
- * 4. 化学物質は樹木消毒にトレボン乳剤を使用
- * 5. 一般廃棄物排出量には剪定枝葉類を含む

(2) 中長期目標

項目	総量・原単位	単位	2022年度 実績(基準年)	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標
売上高		百万円	77	77	77	77
燃料使用量						
ガソリン使用量 (事務所)	総量 原単位	(ℓ) (ℓ/百万円)	840 11	800 10	790 10	780 10
ガソリン使用量 (現場)	総量 原単位	(ℓ) (ℓ/百万円)	1,716 22	1,600 21	1,500 19	1,400 18
軽油使用量	総量 原単位	(ℓ) (ℓ/百万円)	3,418 44	3,200 42	3,100 40	3,000 39
LPG使用量	総量 原単位	(kg) (kg/百万円)	305 4	280 4	270 4	260 3
電力使用量	総量 原単位	(kWh) (kWh/百万円)	18,668 242	17,000 221	16,500 214	16,000 208
CO ₂ 排出量	総量 原単位	(kg-CO ₂) (kg-CO ₂ /百万円)	25,528 332	23,000 299	22,500 292	22,000 286
用水使用量	総量 原単位	(m ³) (m ³ /百万円)	391 5	350 5	345 4	340 4
一般廃棄物排出量	総量 原単位	(kg) (kg/百万円)	49,936 649	45,000 584	44,500 578	44,000 571
産業廃棄物排出量	総量 原単位	(t) (t/百万円)	173 2	150 2	140 2	130 2
産業廃棄物再資源化率	総量	(%)	100	100	100	100
グリーン購入	総量	(%)	80	83	84	84
環境負荷の少ない工事	総量	(%)	100 (59/59)	100	100	100
化学物質使用量	総量	原液(kg)	0	0	0	0
環境美化活動	総量	(回)	3	4	5	6

9. 次年度の取組内容

(2) 環境経営計画 (2024年度)

期間： 2024年 7月 ～ 2025年 6月

項目		活動内容	担当者	期間
CO2 排出量 削減	燃料使用量 削減	○エコドライブを心がける	総務部：岩村	7月～6月
		○不要な荷物をできるだけ積まない		
○工事車両、重機のアイドリングストップの励行		工務部：岩村		
○定期的に車両の保守点検を実施する				
電力使用量 削減	○エアコンを適正温度に設定する (冷房28℃程度、暖房20℃程度)	総務部：岩村	7月～6月	
	○クールビズ、ウォームビズを実施する			
	○留守の時は照明、エアコンを切る			
	○冷暖房中の窓、ドアの開放禁止			
	○長時間使用しない○A機器は電源を切る			
用水使用量削減 (排水量削減)	○使用しない時は蛇口を閉める	総務部：岩村	7月～6月	
	○節水意識を高める			
	○現場では不必要な時は蛇口をこまめに閉める			
廃棄物削減	一般廃棄物	○印刷の際は確認し、コピーミス減らす	総務部：岩村	7月～6月
		○白黒印刷の推進		
		○内部文書は裏紙を使用する		
		○使用済の封筒の再利用を行う		
	○剪定枝葉をパーク材の原料としてリサイクルする	工務部：岩村		
産業廃棄物	○分別処理の徹底	工務部：岩村	7月～6月	
グリーン購入	○再生コピー紙を購入する	総務部：岩村	7月～6月	
	○エコマーク文具を選定購入する			
化学物資排出量削減	○化学物質使用量削減に努める	工務部：岩村	7月～6月	
	○適正な使用量で無駄な使用はしない			
環境負荷の少ない工事	○環境負荷の少ない材料(リサイクル材、県産品等)の使用	工務部：岩村	7月～6月	
	○低騒音、排出ガス対策型重機の使用			
	○型枠、工事看板への間伐材の使用			
	○仮設材を自社保有して転用しながら使用			
	○植栽維持業務において残材のリサイクルに努める			
	○植栽工事に利用する杉皮・シュロ縄は天然素材で自然に帰るものを使用			
	○電動工具を使用して直接CO2を出さない			
社会貢献活動	○ロードボランティア活動を行う	工務部：岩村	7月～6月	

10. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

(環境関係法規)

法規名	適用条項	具体的内容	点検頻度 測定時期	担当者	遵守状況	確認日
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）	第3条	事業者の責務 事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理	必要時	工務 岩村	○	6月30日
	第8条 施行規則	見やすい場所へ産業廃棄物保管場所である旨、保管する産業廃棄物の種類等の表示をした掲示板を設置する	必要時	工務 岩村	○	6月30日
	第12条	産業廃棄物の事業者の処理 産業廃棄物の委託契約	必要時	工務 岩村	○	6月30日
	第12条の三	産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	必要時	工務 岩村	○	6月30日
	第12条の三 7項	マニフェスト交付状況報告書の作成及び高知市長への提出	年1回 毎年6月末	工務 岩村	○	6月30日
騒音規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時	工務 岩村	○	6月30日
振動規制法	第14条	特定建設作業の実施の届出 （建設作業開始7日前までに市町村長に届出）	必要時	工務 岩村	○	6月30日
資源の有効な利用の促進に関する法律 （資源有効利用促進法） （リサイクル法）	第4条	土砂、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木材等の減量化及びリサイクル	必要時	工務 岩村	○	6月30日
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 （建設リサイクル法）	第5条	○建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ○建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	必要時	工務 岩村	○	6月30日
特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律（オフロード法）	第17条	監視・チェック ・適合証明 ・平成18年4月施行前販売証明	必要時	工務 岩村	○	6月30日
グリーン購入法	第100号、第5条	できるだけ環境物品を選択購入する	必要時	総務 岩村	○	6月30日
一般廃棄物に関する高知市の条例 同意するその他の要求事項		一般廃棄物を定められた適正な分別を実施し、排出する。	必要時	工務 岩村	○	6月30日
浄化槽法	第10条 第11条	年1回の浄化槽の保守点検、清掃実施 年1回の水質検査実施	必要時	総務 岩村	○	6月30日
特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律	第5条	排出量などの把握及び届出 農業に含まれる第1種指定化学物質の削減	必要時	工務 岩村	○	6月30日
高知県環境基本条例	第6条	基本理念及び責務の確認と執行	必要時	工務 岩村	○	6月30日
高知市景観条例	第6条2	事業者の責務：市が実施する良好な景観の形成に関する施策に協力しなければならない。	必要時	工務 岩村	○	6月30日
フロン排出抑制法	第16条	フロン類が充填されている業務用空調機器は3か月に1回以上簡易点検を行う	3か月に1度	総務 岩村	○	6月30日

(2) 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

令和5年7月より令和6年6月まで、環境関連法規等への違反、訴訟及び外部からの苦情・要望等はありませんでした。

11. 代表者による全体評価と見直しの結果

■定期見直し
□臨時見直し

見直しに必要な情報				代表者による見直し																																					
環境管理責任者の報告及び改善提案				変更の必要性の有無・指示事項																																					
【取組状況の評価結果】 ①環境関連法規制等の遵守状況 遵守できている。 ②問題点の是正処置及び予防処置の状況 特になし。 ③前回までの代表者の指示事項への対応 指示事項なし <改善提案>				【環境経営方針】 変更の必要性： □有 ■無 全体を通じ一定の効果が得られており、引き続き環境経営方針に沿って活動を継続させる事。																																					
【環境経営目標・環境経営計画の達成状況】 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>目標項目</th> <th>目標値 達成状況</th> <th>経営計画 達成状況</th> <th>コメント (目標値、活動計画に対するコメント)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃料使用量削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>車両・重機の燃料節約を継続する</td> </tr> <tr> <td>電力使用量削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>引き続き徹底させる</td> </tr> <tr> <td>用水使用量削減</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>節水意識を徹底させる</td> </tr> <tr> <td>一般廃棄物削減</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>達成できた</td> </tr> <tr> <td>産業廃棄物削減</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>大規模工事のため達成できなかった</td> </tr> <tr> <td>化学物質削減</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>これからも適正に使用する</td> </tr> <tr> <td>グリーン購入</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>引き続き徹底させる</td> </tr> <tr> <td>環境負荷の少ない工事</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>これからも創意工夫して環境負荷の少ない工事をする</td> </tr> </tbody> </table>				目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)	燃料使用量削減	○	○	車両・重機の燃料節約を継続する	電力使用量削減	○	○	引き続き徹底させる	用水使用量削減	×	○	節水意識を徹底させる	一般廃棄物削減	○	○	達成できた	産業廃棄物削減	×	○	大規模工事のため達成できなかった	化学物質削減	×	○	これからも適正に使用する	グリーン購入	○	○	引き続き徹底させる	環境負荷の少ない工事	○	○	これからも創意工夫して環境負荷の少ない工事をする	【環境経営目標・環境経営計画・環境管理組織体制】 変更の必要性： □有 ■無 引き続き継続させる事。	
目標項目	目標値 達成状況	経営計画 達成状況	コメント (目標値、活動計画に対するコメント)																																						
燃料使用量削減	○	○	車両・重機の燃料節約を継続する																																						
電力使用量削減	○	○	引き続き徹底させる																																						
用水使用量削減	×	○	節水意識を徹底させる																																						
一般廃棄物削減	○	○	達成できた																																						
産業廃棄物削減	×	○	大規模工事のため達成できなかった																																						
化学物質削減	×	○	これからも適正に使用する																																						
グリーン購入	○	○	引き続き徹底させる																																						
環境負荷の少ない工事	○	○	これからも創意工夫して環境負荷の少ない工事をする																																						
<改善提案> 工事の関係で産業廃棄物と用水使用量が未達成となった。 化学物質削減に努める事。				【その他】 変更の必要性： □有 ■無 エコアクション21はシステムとして有効に機能している。																																					
【周囲の変化の状況】 ①外部コミュニケーション記録より 工事開始前に周辺住民にお知らせ等を配布し、工事説明に努めており、苦情はありませんでした。 ②環境関連法規制等の動向他 変更なし <改善提案>				【総括】 (環境経営レポートの代表者による全体の評価と見直しの欄に記載) 11年を経過した。 売上高に伴い、目標値に達成できない項目もあったが、経営計画は取り組めたと思う。 未達成項目は環境経営計画に基づき目標達成できるよう取り組んでいく。 これからも整理整頓を心掛け、無駄のない施工、地球に優しい経営を継続する。																																					
代表者が自ら得た情報																																									
特になし																																									